

熱い気持ちで、故郷を守る！



大東消防署消防課

消防副士長 玉元

救助隊

大揮（平成27年入職）

DAITOSHIJONAWATE

家族や仲間たちの住むこの町で・・・

私は高校時代まで大東市で生まれ育ちました。幼い頃から野球をしていた私は社会人野球を目指し関東の大学に進学しました。しかし、大学時代に怪我をしまい野球を続けられなくなった私は、今まで野球で培ってきた体力と精神力を活かせると思い、消防士を目指すことに決めました。

どこの消防本部を受験するか考えた時に大学時代を関東で過ごしたせいか、生まれ育った大東市が恋しくなり家族や友人が多く住むこの土地で消防士として恩返しがしたく、大東四條畷消防本部を受験しました。



強く、熱い気持ちを持った救助隊員に

私は現在、憧れであった救助隊として勤務させていただいております。救助隊は火災、交通事故、水難事故と多種多様な災害現場の最前線で人命救助を主眼とした活動を行います。高度な知識や技術、強靱な体力が求められるこの職業は、訓練や技術の錬磨にゴールがないため、いくら学んでも勉強不足だと痛感します。そして、何よりも『絶対に助けてやる』という強い気持ちが必要だと思います。

私は入職5年目になりますが、市民から見れば経験年数に関わらず一人の消防士です。私は市民から信頼され、熱い気持ちを持った消防士を目指しています。

受験生へのメッセージ

『必ず消防士になる』という強い気持ちが大切であり、それは面接時に必ず面接官に伝わると思っています。そして、受験勉強で不安になった時、消防士として仕事をしている自分をイメージして下さい。今何をすべきかが見えてくると思います。

当消防本部では配属先の希望等が反映され、職員の能力を最大限に発揮することを目的とする自己申告制度というものがあります。この制度を通じて様々な業務に挑戦できるため、消防士として成長することができます。また、親切に御指導していただける先輩方が非常に多いこと、自身の考えや意見が伝えやすく働きやすい環境であることも当消防本部の強みだと感じております。

受験生の皆さん、私達とともに大東四條畷の安心・安全を守りましょう。

